

川崎重工グループのCSR

川崎重工グループのグループミッションは、「世界の人々の豊かな生活と地球環境の未来に貢献する“Global Kawasaki”」。従業員一人ひとりがそれぞれの持ち場で、日々の業務活動の中で実践しています。これに「企業の社会的責任」という側面からより広い意識と行動目標を加え、さらに高いレベルでグループミッションを実現していくことを目指しています。

川崎重工グループのグループミッションとCSR

基本的な考え方

川崎重工グループのCSRは、グループミッションのより高いレベルでの実現のための努力の積み重ねです。私たちは、人間社会・地球環境の未来に貢献することがカワサキブランドの価値を向上させることであると認識し、下記の5つのテーマを推進します。

より高いレベルでの
グループミッション
の実現

CSRの5つのテーマ

| | |
|----------------------------|--------|
| 1. 総合技術力で未来をひらく価値を創り出します | 事業 |
| 2. 社会の信頼に応えるため、いつも誠実に行動します | マネジメント |
| 3. ずっと働きたい職場をみんなで作ります | 従業員 |
| 4. 「地球が微笑むものづくり」を追い求めます | 環境 |
| 5. 社会と未来につながる貢献の輪を広げます | 社会貢献 |

カワサキバリュー

- 多様なお客様の要望にこたえる
- テクノロジーの頂点を目指す
- 独自性・革新性を追求する

多様なお客様の
要望にこたえる

グループミッション

「世界の人々の豊かな生活と
地球環境の未来に貢献する
“Global Kawasaki”」

独自性・革新性
を追求する

テクノロジーの
頂点を目指す

グループ経営原則

- ① 高性能・高品質で安全な製品・サービスを世界の人々に提供する。
- ② 社会的責任を認識し、地球・社会・地域・人々と共生する。
- ③ 労使の信頼を企業文化とし、グローバルに“人財”を育成・活用する。
- ④ “選択と集中”“質量量従”“リスクマネジメント”を指針とする。

グループ行動指針

- ① グローバルで長期的な視点に立つ。
- ② 困難な課題に挑戦する。
- ③ 目標の実現に向け、最善を尽くす。
- ④ 社会と人々から信頼される企業人となる。
- ⑤ 自主独立のプロフェッショナルとなる。
- ⑥ 誇りと喜びを共有する、カワサキのよきメンバーとなる。

川崎重工グループのCSRの枠組みづくり

川崎重工グループのCSRは5つのテーマからなっています。テーマごとに個別領域を設け、その中でそれぞれの「目指す姿」を設定しました。

企業に対する社会の期待はさまざまです。私たちはこれを「お客様からのご要望」「第三者機関のCSR調査項目」「ISO 26000の中核主題」などから収集・集約し、この中から川崎重工グループとして取り組むべき課題項目を抽出しました。これらのCSR課題項目は、目指す姿に至るための「中期経営計画2010(2010~2012年度)」期間中の取り組み事項と位置付け、それぞれの担当部門が現状を自己評価し、「足りないところは補い、強みはより向上させる」ことを目標としてアク

シヨンプランを策定し、PDCAサイクルを回しています。(個別の課題項目への取り組み状況は、7-8ページをご覧ください。)

一方、「企業に対する社会の期待」も年々少しずつ変化しており、取り組むべき範囲も広がりつつあります。2012年度は、2013年度から始まる新しい中計の準備期間でもあります。この1年で当社のCSR課題項目を見直し、新たな中計期間に時代の変化をきちんと反映した活動を実施していきます。

CSR活動組織

■ 全社CSR委員会

委員長：社長
 委員：取締役、カンパニープレジデント、本社部門長、および常勤監査役
 CSRの大方針、重要事項を審議・決定するための組織です。

■ 本社CSR企画ワーキンググループ

全社CSR委員会の諮問機動的なタスクチームです。
 当社ではどう取り組むかを議論し、全社CSR委員会に提言します。

■ その他全社横断組織・委員会

- 地球環境会議
- 人財開発委員会
- リスク管理委員会
- 輸出関連法規遵守審査委員会
- 危機管理対策機構

■ カンパニーCSR委員会

委員長：各カンパニープレジデント
 全社CSR委員会で決定された大方針のもと、各カンパニーの
 具体的施策を決定・実行し状況を確認します。

■ カンパニーCSR連絡会

各カンパニーCSR委員会事務局の情報連絡会です。

■ 本社CSR委員会

委員長：本社管理部門担当副社長
 カンパニーCSR委員会の本社管理
 部門版です。

■ 合同CSR連絡会 (2011年度より)

従来は全社CSR委員会に対して本社CSR企画ワーキンググループが諮問した取り組みを各カンパニーが展開していました。
 2011年度よりカンパニーメンバーとも課題意識を共有し協働で議論するため、「合同CSR連絡会」を開催しています。

■ CSR報告書編集委員会

毎年のCSR報告書の方向性を議論し、編集作業を行います。

川崎重工グループのCSRのテーマ・個別領域と「目指す姿」

| テーマ | 個別領域 | 目指す姿 |
|----------|--------------|--|
| 全般 | (CSR全般) | グループミッション(社会に対する当社の使命)をより高いレベルで実現します |
| 1 事業 | 製品開発 | グループの総合力を活かして、高度な技術力で高性能・高品質の製品を開発します |
| | 製品責任 | お客様の視点に立った、「信頼」「安心」の製品・サービスを提供します |
| | お客様満足 | お客様のニーズを満たし、感動を伴う製品・サービスを提供します |
| 2 マネジメント | コーポレート・ガバナンス | 経営の透明性と健全性を追求し、事業部門の自立的な運営とともにグループ総合力の発揮を実現します |
| | コンプライアンス | 風通しが良く自浄作用の働く組織を築き、信頼される企業風土を確立します |
| | リスク管理 | 事業目標の達成を阻害する重要なリスクを把握し、最適な対応が取れる体制を構築します |
| | 情報セキュリティ | 確実な情報セキュリティ対策を行い、情報の安心と安全を維持します |
| | 情報開示・IR活動 | 適時的確に企業情報を発信し、開示内容もさらに一層充実させます |
| | お取引先 | お取引先と共生し、公正なパートナーシップを継続するとともに、CSR活動の協働を推進します |
| 3 従業員 | 安全・衛生 | 心身ともに健康に働くことができる、安全で快適な職場環境を築きます |
| | 人財開発 | 一貫した従業員の育成・強化を行い、人的価値を最大限に高めます |
| | 人権 | 従業員の多様性を尊重し、さまざまな価値観と能力を受け入れ、活かす職場を目指します |
| 4 環境 | 労働 | 働きがいのある職場づくりに努め、公平・公正な処遇を行います |
| | 地球環境 | 低炭素社会・循環型社会・自然共生社会の実現を目指します |
| 5 社会貢献 | 地域社会・日本社会 | 地域社会と共生・連携し、未来の夢のテクノロジーを担う次世代の育成を支援します |
| | 国際社会 | 世界の国々の文化を尊重し、技術や人財の育成を通じて豊かさの実現に寄与します |